

平成20年度
離島漁業再生支援交付金事業の評価について

水産庁企画課

1. 事業全体の実施状況と評価

平成20年度においては、19(18)都道県で実施され、839(822)の漁業集落が取組に参加し、232(226)の集落協定が締結され、全国の集落に対して交付された交付金の額は、24億1千万(24億)円となりました。

引き続き制度の活用に向けた施策のPRを対象地域の漁業集落に対して積極的に行っていく必要があります。

* ()は平成19年度実績

区分	集落協定の締結状況			
	実施市町村数	協定締結数 ※1	参加漁業集落数※2	交付金額※3 (百万円)
北海道	5	9	73	198
山形県	1	1	1	10
東京都	6	10	13	68
新潟県	2	27	162	238
石川県	1	1	1	8
三重県	1	2	2	18
兵庫県	2	3	7	90
島根県	4	4	58	165
山口県	5	8	8	62
徳島県	1	1	1	6
愛媛県	4	10	15	74
高知県	1	1	1	3
福岡県	1	1	1	15
佐賀県	1	4	4	28
長崎県	10	86	330	1007
大分県	3	3	3	39
宮崎県	1	1	1	27
鹿児島県	20	42	125	217
沖縄県	14	18	33	135
全国計	83	232	839	2407

- ※1 協定締結数とは、協定を締結した集落数
- ※2 参加漁業集落数とは、漁業センサス上の最小単位集落数
- ※3 交付金額は、漁業集落に交付された金額

2. 漁場の生産力の向上に関する取組

(1) 実施状況

漁業再生の基盤となる資源の増大や漁獲量の向上を目指した「漁場の生産力の向上に関する取組」としては、昨年と異なり「種苗放流」(83%)が最も多く取組まれ、続いて「海岸清掃」(79%)、以下「産卵場・育成場の整備」(60%)、「漁場監視」(56%)、「藻場・干潟の管理改善」(49%)、の取組がなされました。

(2) 評価

4年目に入り、事業期間が残り半分を切った集落が多いことから、大きな変化はなく、安定した状況になりつつある。取組が行い易い、「種苗放流」、「海岸清掃」、「漁場監視」のほか、資源増大に対して有効な活動である「産卵場・育成場の整備」、「藻場干潟の管理・改善」の取組を行う集落数が全体の半数程度を維持するようになり、自らの資源管理に対する意識が定着し、活動が軌道に乗ったと評価される。今後は、他地域の成功事例を取り込む等、取組内容を一層高度化し、効果的な取組が実施されることが重要である。

< 集落におけるのべ実施数に対する取組の割合 >

区 分	北海道	山形県	東京都	新潟県	石川県	三重県	兵庫県	島根県	山口県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	全国計	実施集落
漁場生産力の向上に関する取組	30	9	20	110	3	6	12	20	39	3	55	3	5	20	342	8	6	201	52	944	232
種苗放流	9	1	2	27	1	2	2	4	8	1	8	0	1	3	74	2	1	34	7	187	81%
藻場・干潟の管理・改善	7	1	2	10	1		0	1	6		5	0	1	4	55	1	1	17	1	113	49%
産卵場・育成場の整備	1	1	1	7	0		3	1	3	1	5	1	0	3	68	0	1	35	9	140	60%
水質維持改善	0	0	0	2	0		0	1	0		5	0	0	0	5	0	0	3	2	18	8%
植樹・魚付き林の整備	2	0	3	3	0		0	3	2		4	0	0	0	5	1	1	11	0	35	15%
海岸清掃	5	1	6	22	1	2	2	4	7		10	1	1	4	70	1	1	37	8	183	79%
海底清掃	0	1	2	10	0		3	2	5		4	1	1	2	18	2	0	10	4	65	28%
漁場監視	5	1	2	21	0	2	1	2	4	1	9	0	1	4	37	1	1	30	8	130	56%
その他	1	1	2	8	0		1	2	4		5	0	0	0	10	0	0	24	13	71	31%

3. 創意工夫を活かした新たな取組

(1) 実施状況

新たな取組として、漁獲物販売面での取組として、「販路拡大」(29%)、「高付加価値化」(24%)、「流通体制の改善」(21%)や新たな漁業・養殖業への取組として、「新たな漁具・漁法の導入」(26%)「新規養殖業への着業」(21%)、の取組が主なものであった。

また、今年度は全ての集落で創意工夫を活かした取組が実施された。

(2) 評価

離島の販売面での不利性の克服のための取組に加え、新たな漁業・養殖業への取組を行う漁業集落が増えてきたことは、各離島において今後の漁業のあり方を見据えた取組が始まってきたものと思われる。

今後は、残りの事業期間の中で、効果的に取組を進めつつ、本事業で出てきた離島漁業の再生に向けた芽をどう残していくかが課題となる。

< 集落における実施数に対する取組の割合 >

区 分	北海道	山形県	東京都	新潟県	石川県	三重県	兵庫県	島根県	山口県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	全国計	実施集落
創意工夫を生かした新たな取組	19	14	14	60	2	2	6	18	21	1	0	1	2	9	167	3	6	94	26	465	232
新たな漁具・漁法の導入	1	1	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	0	1	34	0	1	16	0	60	26%
新規漁業への着業	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	11	0	0	4	1	24	10%
新規養殖業への着業	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	6	0	0	0	22	0	1	8	7	49	21%
低・未利用資源の活用	0	0	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	14	0	2	3	0	26	11%
品質の均一化に向けた取組	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	15	6%
高付加価値化	0	1	1	15	0	0	2	3	1	0	0	0	1	0	22	0	0	6	4	56	24%
流通体制改善	6	1	0	5	0	1	1	3	5	0	5	1	0	2	12	1	0	3	3	49	21%
簡易加工	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	5	0	0	3	8	1	0	12	0	34	15%
海洋レジャーへの取組	0	0	2	7	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	9	0	0	2	0	22	9%
伝統漁法の取組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	1%
漁労技術の向上の取組	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1%
販路拡大	1	1	3	26	1	0	3	3	1	0	3	0	0	0	10	0	0	15	1	68	29%
その他	7	1	2	1	1	0	0	0	7	0	2	0	1	0	13	1	2	22	10	70	30%

4. 集落協定当たり取組数

本制度4年目である20年度における1集落協定当たりの取組数は、全体では「漁場の生産力向上の取組」が4.1(4.1)、「集落の創意工夫を活かした新たな取組」が2.0(1.9)と取組数は横這いであり、事業の終了に向けて既に始めている取組を着実に実施する段階に入った。

今後は、実施している取組が将来的な成果に繋がるよう、取組の着実な推進と高度化を進めることが重要と考えられる。

<1協定当たりの取組数>

区 分	北海道	山形県	東京都	新潟県	石川県	三重県	兵庫県	島根県	山口県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	全国計
集落協定数	9	1	10	27	1	2	3	4	8	1	10	1	1	4	86	3	1	42	18	232
取組数(計)	5.4	23.0	3.4	6.3	5.0	4.0	6.0	9.5	7.5	4.0	5.5	4.0	7.0	7.3	5.9	3.7	12.0	7.0	4.3	6.1
漁場生産力の向上の取組	3.3	9.0	2.0	4.1	3.0	3.0	4.0	5.0	4.9	3.0	5.5	3.0	5.0	5.0	4.0	2.7	6.0	4.8	2.9	4.1
創意工夫を生かした新たな取組	2.1	14.0	1.4	2.2	2.0	1.0	2.0	4.5	2.6	1.0	0.0	1.0	2.0	2.3	1.9	1.0	6.0	2.2	1.4	2.0

H20離島交付金全国実施状況

区 分		北海道	山形県	東京都	新潟県	石川県	三重県	兵庫県	島根県	山口県	徳島県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	全国計	取組をした集落の割合
1 実施市町村数	活動促進計画策定市町村数	5	1	6	2	1	1	2	4	5	1	4	1	1	1	10	3	1	20	14	83	
2 集落協定締結数	集落協定数	9	1	10	27	1	2	3	4	8	1	10	1	1	4	86	3	1	42	18	232	
	うち特認離島の協定数	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	4	0	0	3	5	2	1	5	0	24	
	協定を策定したセンサス上の集落数	73	1	13	162	1	2	7	58	8	1	15	1	1	4	330	3	1	125	33	839	
	うち特認離島の集落数	0	0	0	0	0	1	4	0	2	0	6	0	0	3	10	2	1	5	0	34	
	協定参加漁業世帯数	1,456	77	502	1,748	58	131	663	1,216	467	45	549	58	108	207	7,631	287	198	1,931	1,003	18,335	
うち漁業世帯数	1,456	77	502	1,748	58	131	663	1,216	458	45	541	38	108	204	7,406	284	198	1,595	888	17,616		
3 集落協定に位置づけられた活動内容	漁場生産力の向上に関する取組	30	9	20	110	3	6	12	20	39	3	55	3	5	20	342	8	6	201	52	944	
	種苗放流	9	1	2	27	1	2	2	4	8	1	8	0	1	3	74	2	1	34	7	187	81%
	藻場・干潟の管理・改善	7	1	2	10	1	0	1	6	0	0	5	0	1	4	55	1	1	17	1	113	49%
	産卵場・育成場の整備	1	1	1	7	0	3	1	3	1	3	5	1	0	3	68	0	1	35	9	140	60%
	水質維持改善	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	5	0	0	3	2	18	8%
	植樹、魚付き林の整備	2	0	3	3	0	0	3	2	0	0	4	0	0	0	5	1	1	11	0	35	15%
	海岸清掃	5	1	6	22	1	2	2	4	7	0	10	1	1	4	70	1	1	37	8	183	79%
	海底清掃	0	1	2	10	0	0	3	2	5	0	4	1	1	2	18	2	0	10	4	65	28%
	漁場監視	5	1	2	21	0	2	1	2	4	1	9	0	1	4	37	1	1	30	8	130	56%
	その他	1	1	2	8	0	0	1	2	4	0	5	0	0	0	10	0	0	24	13	71	31%
	創意工夫を生かした新たな取組	19	14	14	60	2	2	6	18	21	1	0	1	2	9	167	3	6	94	26	465	
	新たな漁具・漁法の導入	1	1	0	1	0	0	2	2	0	0	1	0	0	1	34	0	1	16	0	60	26%
	新規漁業への着業	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	3	11	0	0	4	1	24	10%
	新規養殖業への着業	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	22	0	1	8	7	49	21%
	低・未利用資源の活用	0	0	5	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	14	0	2	3	0	26	11%
	品質の均一化に向けた取組	0	0	1	2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	15	6%
	高付加価値化	0	1	1	15	0	2	3	1	1	0	0	0	1	0	22	0	0	6	4	56	24%
	流通体制改善	6	1	0	5	0	1	1	3	5	0	5	1	0	2	12	1	0	3	3	49	21%
	簡易加工	0	0	0	1	0	1	0	1	2	0	5	0	0	3	8	1	0	12	0	34	15%
	海洋レジャーへの取組	0	0	2	7	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	9	0	0	2	0	22	9%
伝統漁法の取組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3	1%	
漁労技術の向上の取組	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	1%	
販路拡大	1	1	3	26	1	3	3	1	1	0	3	0	0	0	10	0	0	15	1	68	29%	
その他	7	1	2	1	1	0	0	0	7	0	2	0	1	0	13	1	2	22	10	70	30%	